

第6次地域保健医療計画の平成29年度取組実績

(医師会・歯科医師会・薬剤師会・医療機関・各団体)

別紙1（医師会、歯科医師会、薬剤師会、医療機関、各団体）

第6次地域保健医療計画の平成29年度取組実績調査票

1 脳卒中医療

（目標）

予防重視の観点から、医療機関、医師会、医療保険者、市町で連携を強化し、健康教育や保健指導等予防のための取組を行います。
 脳卒中の予後改善を図るため、病院前救護から急性期・慢性期の治療やリハビリ、在宅医療までの医療連携体制の構築を推進します。
 利根保健医療圏地域医療ネットワークシステム「とねっと」の地域連携クリティカルパスを活用するなど、プレホスピタル・ケアから在宅医療に関わる複数の機関における患者情報の共有化を図り、良質な医療提供に努めます。
 患者が病期に応じ、適切なケアが享受できるよう医療情報システムや介護・福祉サービスの情報提供を行います。

実施主体	主な取組	機関名	平成29年度実施計画	平成29年度取組実績	担当部署
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	高血圧等脳卒中 ハイリスク者 に対する保健指導 の充実	北埼玉医師会	○単独事業の計画はないが、埼玉県、加須市、羽生市の事業に積極的に協力をする。	○概ね計画どおり実施	会 長
		行田市医師会	○市内3医療機関での脳ドックの実施及び健診後の各医療機関での指導を実施	○市内3医療機関での脳ドックの実施及び健診後の各医療機関での指導を実施した。	会 長
		幸手薬剤師会	○健康まつりでの保健指導、栄養指導実施 ○市内3薬局において健康相談会を定期的に実施	○健康福祉まつりでお薬相談実施、減塩指導実施。健康サポート薬局において高血圧予防の講話実施。	
		行田市薬剤師会	○健康まつりなどで小冊子などを配布。	○健康祭りが雨天のため中止となった。そのため用意した約540部は12の保険薬局で配布した。小冊子の内容は第一三共株式会社提供「実践！食事療法 減塩」と高血圧症とは関係ないが加須保健所提供「ダメ。ゼッタイ。普及運動」である。	
		行田中央 総合病院	○特定保健指導（動機づけ支援、積極的支援）の実施 ○脳ドックの実施	○特定保健指導を1,665件実施 ○脳ドックを340件受入	健康管理 センター
		行田総合病院	○脳ドックの推進 ○栄養指導の充実	○脳ドック、LOXIndex検診、頭痛外来を継続実施し、広報にてこれらの受診の啓発を行った。 ○外来にて高血圧の方への栄養指導を実施した。	健診担当 栄養科
		羽生総合病院	○医療講演を行い、脳ドックの重要性を地域に広める。	○院内健康講座を定期的に行い医療へ関心を促し、脳ドックのみならず健康診断を受けることへの周知も行った。	事業部
		新久喜 総合病院	○脳ドックの啓発・推進活動	○脳ドックの啓発・推進活動	健康管理 センター
		済生会栗橋病院	○高血圧、脂質異常症、糖尿病、透析患者を対象とした食事療法・服薬指導・保健指導を行う。	健診センターにて、保健師2名を配置し保健指導を実施している。	地域連携課
		蓮田病院	○地域の医療機関と連携し、高血圧症の栄養指導を拡充する。 ○検診センターにおいて脳検査の推進 ○公開講座への取り入れ項目とする。	○病診連携懇話会等で案内を行う。（年2回） ○28年度 168件→29年度 184件（前年度比109%） ○公開講座（演題：たばこについて考える）（H29.06実施）	経営企画室
東埼玉総合病院	○予防重視の観点から、市民公開講座を開催し、医療機関、医師会、行政（幸手市、杉戸町、宮代町）と連携し、健康教育や保健指導等予防のための取組を行う。	○住民向けに市民公開講座を年3回開催し、医療講演・健康測定・各種相談を実施。医療機関、医師会、行政（幸手市、杉戸町）と連携して、地域住民の健康に対する意識向上に努めた（参加者総数368名）。	地域医療 推進部		
白岡中央 総合病院	○5月12日の看護の日や8月5日の白岡祭り、または院内などでの健康相談や11月開催予定の公開講座で、病気予防への啓発 ○インターネット上での案内、受診しやすい内容のコースを設定し、受診しやすい体制を取る。	○5月12日の看護の日のイベント、8月5日の白岡まつりにて健康相談の実施（健康相談実施数 両日100名以上）。11月11日に市民公開講座を実施、参加者へ健診パンフレット配布（参加者30名へ配布） ○4月より病院ホームページからの受診予約を可能とした。	健康管理課		
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	医療機関と消防機関との連携によるプレホスピタル・ケアの充実	北埼玉医師会	○埼玉県東部地域MC、埼玉県北部地域MC、BANDO、MCの構成員として、充実に協力をする。	○概ね計画どおり実施	会 長 担当理事

医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	医療機関と消防機関との連携によるプレホスピタル・ケアの充実	行田市医師会	○市民ファームにおいてAEDの体験学習及び消防署員による寸劇の中でAED講習を実施	○市民ファームにおいてAEDの体験学習及び消防署員による寸劇の中でAED講習を実施した。	会 長
		行田市 歯科医師会	○地域連携病院との関係強化（行田中央総合病院・行田総合病院）	○行田中央総合病院・行田総合病院地域連携会議院内発表会参加	会 長
		行田総合病院	○医療機関と消防機関とで症例を持ち寄ったプレホスピタルケアの勉強会を実施	○近隣救急隊との勉強会を実施。埼玉県急性期脳梗塞ネットワークに対する意見交換会も同時に行った。	医 師
		羽生総合病院	○救急隊員との連携を強化し、診療の質を高めるために症例検討会、気管内挿管の研修やERカンファレンスを実施する。	○定期的に地域の救急隊の方が参加されるERカンファレンスを開催。救急隊の気管内挿管の研修にも積極席に受け入れた。	救急委員会 事業部
		新久喜 総合病院	○地域医療ネットワークシステムの構築に協力、医療情報の共有による地域完結型医療の実現 ○医療機関を対象とした連携会、症例検討会、研修会の開催（年12回以上） ○救急隊との症例検討会の開催（年2回）	○地域医療ネットワークシステムの構築に協力、医療情報の共有による地域完結型医療の実現 ○医療機関を対象とした連携会、症例検討会、研修会の開催（年35回） ○救急隊との症例検討会の開催（年1回実施）	地域医療課
		済生会栗橋病院	○消防署員や救急隊員及び保健所職員・学校職員に当院に来ていただき、脳卒中を中心とする救急医療に対する研究会を定期に開催している。今後も、事例、症例を共有することで、更なるレベルアップと相互に顔の見えるチーム体制を築く。	○救急隊・保健所・市役所等行政、学校職員等を対象とした救急勉強会の開催。（小児2回、成人2回）（延434名参加）	地域連携課
		蓮田病院	○派遣型救急ワークステーションとの連携強化 ○救急隊員の実習受入 ○普通救命講習の実施	○平成29年5月から9月に蓮田消防のワークステーションを設置 ○気管挿管実習、ビデオ喉頭鏡実習、病院実習（蓮田・越谷消防）	経営企画室
		東埼玉総合病院	○消防機関との連携強化に向け『症例検討会』を開催（年2回予定） ○近隣消防機関との連携強化のために訪問し、救急科長、事務部長等訪問による当院との要望・意見交換の実施	○症例検討会実施に関しては3月に1回実施した。 ○近隣の消防機関に医師・担当事務局が計3回訪問し、顔の見える連携強化向上の為搬送時の要望・意見交換等を行なった。	救急委員会
白岡中央 総合病院	○普通救命講習を全職員を対象に実施（平成29年6月、9月、12月、平成30年3月予定） ○消防機関への連携訪問(救急担当医師や医師入職時に定期訪問) ○埼玉県東部地区メディカルコントロール協議会への定期的な参加	○普通救命講習を全職員を対象に実施（6月24日、9月30日、12月9日、3月10日、計4回実施、計61名参加） ○消防機関への訪問回数（埼玉東部消防組合、宮代消防署、伊奈消防本部、蓮田消防本部等、計6回） ○埼玉県東部地区メディカルコントロール協議会（開催場所：獨協医科大学越谷病院）へ救急担当医師が1回/月以上定期的に出席している	総務人事課		
医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	地域連携クリティカルパスを活用した医療連携体制の整備	北埼玉医師会	○「とねっと」の普及と活用にチャレンジする。	○概ね計画どおり実施	担当理事
		行田市医師会	○急性期は2病院が対応し、回復期は各医療機関が対応している。	○急性期は2病院が対応し、回復期は各医療機関が対応した。各病院の地域医療連携室が調整にあたった。	
		埼玉葛歯科医師会	○地域連携病院との関係強化	○地域連携病院との関係強化	会 長
		久喜市 歯科医師会	○蓮田病院歯科口腔外科等の連携講習会の開催	○蓮田病院歯科口腔外科等の連携講習会の開催	会 長
		蓮田市 歯科医師会	○蓮田病院歯科口腔外科等の連携講習会の開催	○蓮田病院歯科口腔外科等の連携講習会の開催	会 長
		白岡市 歯科医師会	○蓮田病院歯科口腔外科等の連携講習会の開催	○蓮田病院歯科口腔外科等の連携講習会の開催	会 長
		北埼玉 歯科医師会	○地域連携病院との関係強化（深谷日赤病院）	○深谷日赤病院地域連携会議参加	理事地域 包括部長
		行田市 歯科医師会	○地域連携病院との関係強化（行田中央総合病院・行田総合病院）	○行田中央総合病院・行田総合病院地域連携会議院内発表会参加	会 長
		行田総合病院	○埼玉県医師会脳卒中地域連携研究会のパスによる患者様の受入れを継続（回復期）	○回復期リハビリテーション病棟において地域連携クリティカルパスを使用した受入れの継続実施を行った。	脳外科 MSW
		中田病院	○地域医療連携会への参加 ○埼玉県脳卒中地域連携研究会情報交換会への参加	○各病院・医師会が開催する医療連携の会へ出席	地域医療 連携室
		羽生総合病院	○地域医療連携会へ参加する。	○地域医療連携会のみならず地域の研修会には積極的に参加し	地域連携室
		新久喜 総合病院	○地域医療ネットワークシステムの構築に協力、医療情報の共有による地域完結型医療の実現 ○地域医療連携懇話会への参加 ○市内救急告示病院事務担当者との連絡調整会議への参加	○地域医療ネットワークシステムの構築に協力、医療情報の共有による地域完結型医療の実現 ○地域医療連携懇話会への参加（年6回）	地域医療課

医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	地域連携クリ ティカルパスを 活用した医療連 携体制の整備	済生会栗橋病院	○3ヶ所の急性期病院と1ヶ所のリハビリテーション施設間で、脳卒中地域連携クリティカルパスの運用について、年3回の情報交換を実施する。さらに参加施設を広めて継続する。	左記病院間で、脳卒中地域連携クリティカルパスの運用実績や、地域の実情（救急搬送の状況、転院までの待機時間、病院毎の取り組み事項等）の情報交換を年3回実施	福祉相談課
		東埼玉病院	○埼玉県医師会脳卒中地域連携研究会の主催する「情報交換会」に常時出席予定（それぞれ3回/年程度）	○左記「情報交換会」について、29年度開催分（年1回）に出席し、関係者と活発な意見交換を行った。	リハビリテーション科・医療福祉相談室
		蓮田病院	○「とねっと」を活用した地域医療機関とのクリティカルパス運用実績の拡大 ○利根医療圏における「とねっと」新規獲得のためのワーキンググループ会議参加	○クリニカルパス利用：0件 ○ワーキンググループの参加：年10回	病診連携室
		東埼玉総合病院	○埼玉県医師会脳卒中地域連携研究会情報交換会に参加 ○脳卒中地域連携パスの運用継続	○埼玉県医師会脳卒中地域連携研究情報交換会に参加。 開催日：2月27日（火）、3月27日（火） ○脳卒中地域連携パス適用件数：70件	地域医療推進部
		白岡中央総合病院	○埼玉県脳卒中パスの運用、連携医療機関との連携 ○埼玉県医師会脳卒中地域連携研究会の情報交換会への参加	○連携医療機関からの脳卒中パスの運用：年間21件 ○埼玉県医師会脳卒中地域連携研究会の情報交換会への参加（3月27日）参加	地域医療・連携センター
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	脳卒中に対応できる医療機関、医療機能等の住民への情報提供	北埼玉医師会	○単独事業の計画はないが、傘下の医療機関において住民に情報提供を行う。	○概ね計画通り実施。	担当理事
		行田総合病院	○病院院外広報誌などでの情報提供	○ホームページや広報誌を使用して住民向けに脳卒中に対する情報提供を行った。	広報
		羽生総合病院	○ホームページや広報誌を充実させるとともに、医療講演を開催した際に受け入れ実績、手術の実績を説明する。	○ホームページの刷新、項目の見やすさへ改善した。定期的に発行する『トリアングル』も滞りなく発行した。医療講演の際には受け入れ実績なども踏まえて説明した。	広報委員会情報室
		新久喜総合病院	○地域の医師に対する脳神経外科医師による脳卒中に対する当院での最新治療の啓発（医師、救急隊向け症例検討会、ポスター掲示等） ○地域住民を対象とした院内外での健康教室の開催（年間90回）	○地域の医師に対する脳神経外科医師による脳卒中に対する当院での最新治療の啓発（医師、救急隊向け症例検討会、ポスター掲示等） ○地域住民を対象とした院内外での健康教室の開催（年間103回）	地域医療課
		済生会栗橋病院	○当院のホームページでの情報発信及び当院が主催する「出張市民講座」等において、当院が脳卒中に24時間365日対応できる旨を情報提供する。 ○土・日曜日のリハビリテーションが可能となる体制づくりをしているが、このことが可能になり次第、ホームページへの情報掲載やクリニックへお知らせを出すようにする。	○当院ホームページにおいて、夜間・休日を含めて24時間オンコール対応できる旨を掲載。また、リーフレットを作成し、地域の医療機関へ情報提供	地域医療連携センター
		東埼玉病院	○近隣市町の地域住民を対象として「市民健康講座」等を開催し、運動指導等の啓発を行う。	○近隣市町の地域住民等を対象とした「市民健康講座」（年6回）を開催し、参加者に対して運動指導等の啓発活動を行った（参加者数211名）。 ○市の老人福祉センター及び市内の自治会館に赴き、出前講座を実施（年10回）し、市民健康講座同様の啓発活動を行った（参加者数425名）。	リハビリテーション科・地域医療連携室
		東埼玉総合病院	○『地域連携の会』を開催し地域の医療機関、在宅医療機関等との情報交換を実施 ○ホームページや院内掲示にて積極的な情報提供に努める。	○「地域連携の会」を開催し、地域の医療従事者に対し当院の診療機能について情報を提供した。 開催日：5月24日（火）、来賓者数：60名 ○「救急医療研修会」を開催し、地域の救急隊に対し当院の診療機能について情報を提供した。また、症例検討を行い、救急医療の強化に努めた。 開催日：3月7日（水）、来賓者数：38名 ○ホームページや院内掲示、パンフレットを作成のうえ、情報提供に努めた。	地域医療推進部
		白岡中央総合病院	○脳神経外科の担当医の変更時など、常に最新の情報を病院ホームページに掲載する。また新入職の医師などは中央病院ニュース（広報誌）で紹介し周知を行う。	○常に最新の情報を病院ホームページに掲載。また平成30年2月より脳神経外科常勤医師入職に伴い、当院の広報誌「きざはし」で紹介（第84号、5月15日発行）	総務人事課

2 糖尿病医療

(目標)

特定健診・保健指導を効率的効果的に実施し、自覚症状のない早期の段階で、生活習慣の改善を図り、QOLの向上のため糖尿病予防に努めます。

早期診断された患者の悪化防止のために、標準的な糖尿病教育プログラムが受けられるような医療機関を増やします。

初期・安定期の治療や保健指導について、かかりつけ医と専門医療機関が地域で共通したパスを活用した情報提供システムの普及啓発を目指し、病院と診療所の連携強化を図ります。地域の管理栄養士等の質の向上と指導の標準化を図るため、市町、医師会が協力して地域として糖尿病教育の質が向上するような研修会を実施します。

実施主体	主な取組	機関名	平成29年度実施計画	平成29年度取組実績	担当部署
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	特定健診・保健 指導の効果的な 実施	北埼玉医師会	○単独事業の計画はないが、埼玉県、加須市、羽生市の事業に積極的に協力をする。	○概ね計画どおり実施。埼玉県の糖尿病重症化対策事業に協力。協会けんぽの同事業にも協力。	担当理事
		行田市医師会	○保健センターにおける保健指導について問題症例は相談を受けアドバイスを行っている。	○保健センターの保健指導における問題症例について相談を受け、アドバイスを行った。	会長
		南埼玉郡市 医師会	○会員医療機関において、特定健診28,000件を実施予定	○会員医療機関において、27,624件の特定検診を実施した。	
		行田市 歯科医師会	○行田市保健センターの糖尿病予防教室への講師派遣	○行田市保健センターの糖尿病予防教室への講師派遣	会長
		行田中央 総合病院	○特定健診の受入れ体制の強化 ○特定保健指導の受診勧奨の強化	○特定健診を1,665件受入 ○特定保健指導を26件受入	健康管理 センター
		行田総合病院	○特定健診の充実を図る。 ○特定健診に対する病院院外広報誌での情報提供	○特定健診受入れ体制を充実させて前年を上回る受診者となった。 ○広報誌にて特定健診の案内を行った。	健診担当 広報
		中田病院	○産業医による訪問・指導 ○積極的に特定健診の受診勧奨を行う。	○産業医として8社へ訪問 ○特定健診 458件実施	医師 健康推進課
		羽生総合病院	○特定健診受診の啓発活動を強化する。ホームページや広報誌で特定健診について案内していく。	○ホームページ・広報誌の『トライアングル』にて特定健診を行っている旨の記載をし、地域の方が特定健診を受けられるように案内を行った。	健診センター
		新久喜 総合病院	○特定健診の充実を図る。	○特定健診の充実	健康管理 センター
		済生会栗橋病院	○健診センターにおける特定健診や健康診断を通じて、糖尿病だけでなく、メタボリック症候群等のハイリスク患者を抽出し、常駐する健診センター長から詳細な説明と2次健診の必要性について案内する。	○糖代謝二次健診対象者1,064名、メタボリック次健診対象者2,084名、基準該当者1,311名、特定保健指導対象者1,288名、積極的市支援対象者733名、動機付け支援対象者555名に受診勧奨を実施	健診センター
		新井病院	○特定健診受診の啓発活動 ○掲示・広報誌での情報提供	○特定健診受診率昨年対比増	看護部
		蓮田よつば病院	○特定健診受診の啓発活動 ○特定健診の受け入れ体制の強化	○内科医招へいによる外来機能強化	外来担当
白岡中央 総合病院	○特定健診の受診者数向上に向け、周知の方法として院内放送で時期の案内を行う。また、オプション検査の対応開始	○住民健診の開始と共に院内放送実施（特定健診受診者数787名、対前年比45名増）またオプション検査の対応については、腫瘍マーカー、脳ドックなどを追加した。	健康管理課		
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	糖尿病患者の教育プログラムの充実	北埼玉医師会	○単独事業の計画はないが、埼玉県、加須市、羽生市の事業に積極的に協力をする。	○概ね計画どおり実施。埼玉県の糖尿病重症化対策事業に協力。協会けんぽの同事業にも協力。	担当理事
		行田市医師会	○市の依頼により講習会講師を派遣している。 ○薬局でHbA1C測定を行い、検査異常者には協力医療機関を公開している。	○市開催の講習会へ講師を派遣した。 ○薬局でのHbA1C測定時、検査異常者には市内の協力医療機関のリストを配付した。	会長
		北埼玉 歯科医師会	○埼玉県歯科医師会「糖尿病と歯周病の連携推進講習会」への派遣	○埼玉県歯科医師会「糖尿病と歯周病の連携推進講習会」への会員派遣	理事地域 包括部長
		行田市 歯科医師会	○行田市保健センターの糖尿病予防教室への講師派遣	○行田市保健センターの糖尿病予防教室への講師派遣 ○糖尿病患者会での講話	会長

医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	糖尿病患者の教育プログラムの充実	行田中央総合病院	○糖尿病患者会活動を通じての啓発活動の充実 ○院内イベントにおける講演等の実施 ○行田市公開講座への講師の派遣 ○糖尿病教育入院の実施 ○糖尿病透析予防プログラムの充実 ○フットケア外来の拡充	○糖尿病患者会活動を5回開催し啓発を実施 ○院内イベントにおいて血糖値測定等を行い、糖尿病予防について啓発を行った。 ○行田市公開講座へ講師を派遣 ○糖尿病教育入院を実施 ○糖尿病透析予防プログラムの充実を図った。 ○フットケア外来の拡充を図った。	関係各部署
		行田総合病院	○糖尿病教育入院の実施 ○栄養指導の充実	○内分泌・代謝内科の医師により糖尿病教育入院を継続実施した。 ○栄養士と医師との情報交換を円滑にし、糖尿病患者への外来栄養指導体制を継続的に実施した。	医師 栄養科
		中田病院	○合併症予防のための患者それぞれに合った教育的指導を充実させる。 ○多職種でのチームカンファレンスの実施	○病棟において医師と糖尿病療養指導士・管理栄養士が中心となり患者指導に当たった。	糖尿病 療養指導士
		羽生総合病院	○糖尿病教育入院の実施並びに医療講演、糖尿病教室を開催 栄養指導の強化	○月に一回の糖尿病教室の開催、院内(御来院されている方対象)健康講座にて糖尿病予防の啓発活動を実施。栄養指導にも力をいれた。	診療部門 栄養科
		済生会栗橋病院	○平成29年4月から、常勤の糖尿病専門医が赴任しており、糖尿病患者の教育プログラムの見直しを実施している。今後、外来及び病棟において、定期的な患者啓発活動を行う。	○術前における血糖コントロールのための入院を実施。	診療統括部
		新井病院	○糖尿病教育入院パス及び資料を見直し情報を共有化 ○栄養指導の充実	○年4回、糖尿病教室・食事を開催 ○糖尿病教育入院増 ○栄養指導件数増	看護部
		東埼玉病院	○生活習慣病教室(糖尿病教育を含む)の開催(12回/年) 対象患者：外来患者 講師：医師、歯科医師、看護師、薬剤師、検査技師、理学療法士及び栄養士	○生活習慣病教室(糖尿病教育を含む)の開催(12回/年) 対象患者 外来患者 ※延べ36名参加 講師：医師、栄養士、理学療法士は毎回講演。薬剤師、検査技師、看護師はローテーションで講演。合計3名で1回の会を実施した。生活習慣病について疾患及び生活指導全般で役立つ内容(服薬、看護、栄養、運動、検査など)や、最近の話題について講演を行った。	機能回復部門 (総合診療科・栄養管理室) 栄養管理室
		東埼玉総合病院	○糖尿病患者の教育プログラムのさらなる充実 ・糖尿病教育入院 年間60件 ・フットケア外来 年間300件 ・透析予防プログラム 年間300件 ・冠動脈疾患予防プログラム 年間500件 ・閉塞動脈硬化症予防プログラム 500件 ・治療中断予防プログラム 300件 ・歯科と連携した予防プログラム 実施 ・生活習慣病予防祭りの開催 1回 ・糖尿病栄養指導件数(個人)年間1,000件	○糖尿病患者の教育プログラムのさらなる充実 ・糖尿病教育入院 年間 104件 ・フットケア外来 年間 378件 ・透析予防プログラム 年間 374件 ・冠動脈疾患予防プログラム 年間 853件 ・閉塞動脈硬化症予防プログラム 674件 ・治療中断予防プログラム 402件 ・歯科と連携した予防プログラム 勉強会1回開催 開催日：3月23日(金) ・生活習慣病予防祭りの開催 1回 ・糖尿病栄養指導件数(個人)年間 1555件	地域糖尿病 センター
白岡中央総合病院	○看護外来の開設(8月2日から、緩和ケア認定看護師とともに開設。がんによる疼痛や心のつらさ、糖尿病の予防・悪化・血糖コントロールなど相談にのる。毎週水曜日9時～13時実施。予約受付から当日受付も可能)	○8月2日より看護外来(毎週水曜日9時～13時)を開設した(延べ受診者数74名)	看護部 糖尿病 認定看護師		
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	糖尿病地域医療連携システムの構築	北埼玉医師会	○「とねっと」の普及と活用にチャレンジする。	○概ね計画どおり実施	担当理事
		行田市医師会	○薬局でのHbA1C測定異常者に協力医療機関を公開している。	○薬局でのHbA1C測定時、検査異常者には市内の協力医療機関のリストを配付した。	会長
		埼玉歯科医師会	○日本糖尿病協会の糖尿病連携手帳を利用した連携システムの強化	○日本糖尿病協会の糖尿病連携手帳を利用した連携システムの強化	会長
		北埼玉 歯科医師会	○日本糖尿病協会の糖尿病連携手帳を利用した連携システムの強化	○日本糖尿病協会の糖尿病連携手帳を利用	理事地域 包括部長
		行田市 歯科医師会	○日本糖尿病協会の糖尿病連携手帳を利用した連携システムの強化	○日本糖尿病協会の糖尿病連携手帳を利用	会長

医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	糖尿病地域医療 連携システムの 構築	行田市薬剤師会	○引き続き行田市、行田市医師会、行田市歯科医師会連携のもと、市内12薬局の検体測定室にてHbA1c測定を推進し、数値が高いにも関わらずまだ治療されていない方を発見し受診勧奨する。健診などへの積極的参加も呼びかける。	○行田市、行田市医師会、行田市歯科医師会の支援のもと事業開始以来、HbA1c測定者は1040名（うち平成29年度は287名）。受診勧奨した人は116名（同28名）。平成29年度に測定した方の中で、特に数値の高かった方の数値は《14.4》、《10.5》、《10.2》であった。	
		行田中央総合病院	○行田市薬剤師会が行うHbA1c測定事業への協力	○行田市薬剤師会が行うHbA1c測定事業への協力を行った。	
		中田病院	○連携する医療機関と定期的な情報交換会への参加 ○地域住民を対象とした公開講座開催。 食事指導、運動療法等、パンフレット配布	○10月に市民対象に公開講座の開催	糖尿病 療養指導士
		羽生総合病院	○連携医療機関との情報交換会の開催。医療講演やホームページ等で地域住民への周知。	○連携医療機関との情報交換会の開催・参加を行った。医療講演のみならず、院内健康講座にて講演を開催。ホームページへ周知も行った。	事業部 地域連携室
		済生会栗橋病院	○連携する医療機関と年間3回の定期的な情報交換を行う体制があるが、今後は糖尿病の連携のための会とする。	○年3回の地域医療連携カンファランスにて、定期的な情報交換を行った。2018年3月の回にて、糖尿病内科医師が最近の糖尿病治療について講演した。（年間延149名参加）	地域医療連携 センター
		東埼玉病院	○看護の日イベントとして、地域住民への食生活・栄養相談を予定 ○地域住民を対象として、健康講話を実施し、食生活の相談、パンフレットの配布を行う予定	○近隣市町の地域住民等を対象とした「市民健康講座」（年6回）を開催し、参加者に対して糖尿病指導等の啓発活動を行った（参加者数211名）。 ○看護の日イベントの一環として、地域住民に対し、糖尿病に関する各種相談を実施した。 ○地域住民を対象とした健康講話を実施し、食生活の相談、パンフレットの配布を行った。	機能回復部門 （総合診療科、栄養管理室）、地域医療連携室
		蓮田病院	○地域の医療機関と連携し、糖尿病の栄養食事指導の拡充 ○公開講座の実施	○病診連携懇話会等で案内を行う。（年2回）	経営企画室
		東埼玉総合病院	○糖尿病循環型連携パス（紙パス）年間800件 ○電子版糖尿病連携パス（とねっとによるITパス）年間1,000件 ○在宅での糖尿病管理や訪問診療との在宅医療連携のさらなる強化 ○幸手市薬剤師会調剤薬局との連携事例 50件 ○幸手市国保データベースによる透析予防事業との連携	○糖尿病循環型連携パス（紙パス）年間818件 ○電子版糖尿病連携パス（とねっとによるITパス）年間943件 ○北葛北部医師会の訪問診療登録医18人と在宅医療連携の構築 ○幸手市薬剤師会調剤薬局（簡易HbA1c測定・栄養指導）との連携事例 58件 ○幸手市健康増進課と連携、北葛北部糖尿病透析予防研究会 年1回実施	地域糖尿病 センター
		白岡中央総合病院	○院内の糖尿病教育パスの見直しを行い、その後、糖尿病地域連携パスの導入	○現在、糖尿病教育パスを見直している。導入に至らなかった。	看護部 糖尿病 認定看護師
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	糖尿病治療及び 保健指導を担う 専門職の質の向上	北埼玉医師会	○糖尿病第一人者による学術講演を年間3～4回開催し、医師会員の質の向上に努める。	○5月16日「合併症を踏まえた糖尿病治療」8月22日「糖尿病合併心疾患の治療」10月11日「糖尿病治療の新しい流れ」3月15日「最近の糖尿病治療」の計4回当医師会主催の講演会開催。演者は糖尿病の第一人者の方々。参加会員医師は毎回約35人×4回。	担当理事
		行田市医師会	○保健センターにおける保健指導について、相談があればアドバイスを行っている。	○保健センターにおける指導困難症例について相談を受け、アドバイスを行った。	会長
		埼玉歯科医師会	○埼玉県歯科医師会及び埼玉県摂食嚥下研究会の講習会への参加、糖尿病関連講習会の実施 ○埼玉利根医療圏糖尿病ネットワーク研究会への参加及び講師派遣	○埼玉県歯科医師会及び埼玉県摂食嚥下研究会の講習会への参加、糖尿病関連講習会の実施 ○埼玉利根医療圏糖尿病ネットワーク研究会への参加及び講師派遣	会長・ 専務理事
		幸手市 歯科医師会	○埼玉県歯科医師会及び埼玉県摂食嚥下研究会の講習会への参加、糖尿病関連講習会の実施 ○埼玉利根医療圏糖尿病ネットワーク研究会への参加及び講師派遣	○埼玉県歯科医師会及び埼玉県摂食嚥下研究会の講習会への参加、糖尿病関連講習会の実施 ○埼玉利根医療圏糖尿病ネットワーク研究会への参加及び講師派遣	会長
		北埼玉 歯科医師会	○埼玉県歯科医師会及び埼玉県摂食嚥下研究会の講習会への参加及び糖尿病関連講習会の実施	○埼玉県歯科医師会及び埼玉県摂食嚥下研究会の講習会への参加及び糖尿病関連講習会の実施	理事地域 包括部長
		行田市 歯科医師会	○糖尿病関連講習会の実施及び行田市内の調剤薬局にて実施している糖尿病の簡易検査の検討	○糖尿病関連講習会の実施及び行田市内の調剤薬局にて実施している糖尿病の簡易検査の検討	会長

医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	糖尿病治療及び 保健指導を担う 専門職の質の向 上	幸手薬剤師会	○糖尿病が疑われる住民への受診勧奨の研修会を実施 ○糖尿病ネットワーク研修会への参加 ○糖尿病治療薬についての研修会実施 ○管理栄養士との連携	○埼玉利根医療圏糖尿病ネットワーク研究会への参加。地域糖尿 病療養指導士の育成。	
		杉戸・宮代 薬剤師会	○糖尿病治療に関する講習会の実施及び参加	○研修会参加（人数不明）	
		羽生市薬剤師会	○糖尿病治療と医薬品講習会の開催 ○糖尿病簡易検査の検討	○最新の糖尿病治療と医薬品講習会の実施	
		中田病院	○病棟スタッフの糖尿病に対する知識の向上 ○統一化のため、指導体制の強化を行う。 ○糖尿病研修に参加。スタッフへの伝達講習。	○各糖尿病に対する研修会へ参加 ○年1回 職員に対し伝達講習を実施	糖尿病 療養指導士
		羽生総合病院	○糖尿病専門医の採用。研修会へ参加し、最新の医療情報を習得し 専門知識を向上させる。	○糖尿病専門医は採用できなかった。非常勤で糖尿病専門医は在 籍している。糖尿病の研修には職種を問わず参加し、知識を深め た。	診療部門 地域連携室
		新久喜 総合病院	○各団体主催の糖尿病関連の研修会等に参加	○各団体主催の糖尿病関連の研修会等に参加	地域医療課
		済生会栗橋病院	○平成29年4月から常勤の糖尿病専門医が赴任しており、院内研修 として糖尿病に関わる勉強会を実施することで、糖尿病チームの 専門性のレベルをアップを図る。	○平成29年度糖尿病療養指導士講習会に7名受講	診療統括部
		新井病院	○埼玉利根医療圏地域糖尿病ネットワーク研究会の参加及び専門 研修会に参加し、質の向上を図る。	○埼玉利根医療圏地域糖尿病ネットワーク研究会多職種が参加 H29.6.9 8名 H29.10.27 9名 H30.3.9 27名 H30.7.13 17名 ○DMをテーマとした看護協会の研修に参加	看護部
		東埼玉総合病院	○埼玉利根医療圏地域糖尿病療養指導士養成講座開講 ○埼玉利根医療圏糖尿病ネットワーク研究会の開催 ○学術・講演会活動の実施 ○地域ぐるみの疾病管理専門部会（DM・CKD・眼科・歯科・認知 症・心筋梗塞）	○埼玉利根医療圏地域糖尿病療養指導士（8期生）15人認定（延 べ111人認定） ○埼玉利根医療圏糖尿病ネットワーク（SDM）研究会 年間3回開 催 193人参加 ○北葛北部糖尿病透析予防研究会 年1回実施 ○地域ぐるみの疾病管理専門部会 ⇒未開催（H30年度へ持越し）	地域糖尿病 センター
		白岡中央 総合病院	○糖尿病療養指導士（CDE）・地域糖尿病療養指導士（CDEL）受講 （病院医療従事者） ○看護外来の開設 ○対外的な研修会の実施（看護学校で糖尿病看護についての研修 等を予定）	○糖尿病療養指導士（CDE）5名受講、地域糖尿病療養指導士 （CDEL）3名受講 ○8月2日より看護外来（毎週水曜日9時～13時）を開設した （延べ受診者数74名） ○幸手看護専門学校での講師を行う（3回）、他医療機関との研 究会で看護活動報告を行う（2回）	看護部 糖尿病 認定看護師

3 在宅医療

（目標）

安心して在宅医療へ移行してもらうための環境づくりに努めます。

医師、歯科医師、薬剤師、看護師、介護職員など多職種が連携したチームで、患者、家族をサポートする体制を構築します。

かかりつけ医とかかりつけ医を支援する地域の中核病院の連携を強化し、地域完結型の医療提供を推進します。

実施主体	主な取組	機関名	平成29年度実施計画	平成29年度取組実績	担当部署
医療機関 医師会 薬剤師会 歯科医師会 各団体	在宅医療機関と 入院医療機関の 連携推進	北埼玉医師会	○北埼玉医師会内に設置した「北埼玉在宅医療連携室」がコー ディネーターとして連携推進を図る。 ○連携ツールとして「とねっと」の普及にチャレンジする。	○概ね計画どおり実施	担当理事
		行田市医師会	○在宅医療拠点を「行田中央総合病院」に依頼している。 ○在宅医療実施医療機関の会合を毎月実施し、情報交換を行っ ている。	○在宅医療拠点を「行田中央総合病院」に依頼している。 ○在宅医療実施医療機関の会合を毎月実施し、情報交換を行っ た。	会 長
		南埼玉郡市 医師会	○南埼玉郡市医師会内及び東埼玉病院の在宅医療連携拠点におい て、在宅医療・介護関係者からの相談対応、及び訪問診療医の登 録、在宅医療支援ベッドの確保を実施予定	○平成27年9月から医師会内に看護師1名を配置し、在宅医療連 携拠点を設置した。同年10月からは、東埼玉病院にサテライト の拠点を設置した。在宅医療・介護関係者からの相談対応、及び 訪問診療医の登録、在宅療養支援ベッドの確保を実施した。	

医療機関 医師会 薬剤師会 歯科医師会 各団体	在宅医療機関と 入院医療機関の 連携推進	北葛北部医師会	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の医療・介護の資源の把握 ○在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討 ○医療・介護関係者の情報共有の支援 ○医療・介護関係者の研修 ○地域住民への普及、啓発 ○在宅医療・介護連携に関する関係市町との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ○幸手市と杉戸町の情報を合せたマップ（冊子）の作成（7,000部発行） ○地域の課題抽出、実態把握の情報収集、アセスメント調査（2回実施、参加者60名） ○7か7（6回実施、参加者329名） ○地域包括ケア会議（6回開催、参加者69名） ○ICTシステムの活用における情報共有方法（セミナー）の作成（1回実施） ○具体的な活用事例を通じたICT使い方の周知や研修の実施（1回実施） ○市民の集い（1回実施、参加者115名） ○暮らしの保健室活動（開催203日、相談件数601件、参加者2,110名） ○みんなのcafe（9回実施、参加者延112名） ○住民主催の地域7会議（2回実施、参加者延33名） ○在宅医療・介護連携推進会議への協力（2回、8名参加） 	在宅医療 連携拠点 事業推進 室
		北埼玉 歯科医師会	○行田中央総合病院内に設置した北埼玉地区在宅歯科医療推進窓口地域拠点の活用	○行田中央総合病院内に設置した北埼玉地区在宅歯科医療推進窓口地域拠点運営	理事地域 包括部長
		行田市 歯科医師会	○行田中央総合病院内に設置した北埼玉地区在宅歯科医療推進窓口地域拠点の活用と従来からある行田市在宅歯科医療窓口との整合性確保	○行田中央総合病院内に設置した北埼玉地区在宅歯科医療推進窓口地域拠点運営	会 長
		行田中央 総合病院	<ul style="list-style-type: none"> ○在宅療養支援病院として、連携する3医療機関との連携強化を進める。 ○北埼玉地区在宅歯科医療推進窓口地域拠点との連携強化を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○在宅療養支援病院として、連携する3医療機関とのさらなる連携強化を進め、訪問診療等の件数も増加した。 ○北埼玉地区在宅歯科医療推進窓口地域拠点との連携強化を進めた。 	地域連携室
		行田総合病院	<ul style="list-style-type: none"> ○在宅機関との定期的な情報交換 ○在宅機関との入院患者に対するカンファの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○在宅機関へ月1回程度訪問し、広報誌や連携だよりによる診療体制の情報提供をおこなった。 ○MSWにより早期介入を行い、地域のケアマネへの入院連絡や退院支援時に在宅機関とのカンファを実施した。 	MSW 地域連携室
		中田病院	<ul style="list-style-type: none"> ○地域医療機関との意見交換、情報共有を行う。 ○退院支援業務の強化（退院前カンファレンスを含む） ○訪問診療事業の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○退院支援看護師やMSWによる在宅退院への支援 ○退院前カンファレンス実施による、在宅サービス事業者との情報交換を積極的に行った。 	地域医療 連携室 医師 訪問部
		羽生総合病院	<ul style="list-style-type: none"> ○地域医療機関との意見交換、情報共有を積極的に行う。 ○院内で関わる部署間のスムーズな連携 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の医療機関の意見交換会に出席する事が出来た。情報共有に関しては、常々積極的に行っている。 ○院内の関係ある介護関連部署・医療にて関連のある部署とは積極的に連携を取っている。 	地域連携室
		新久喜 総合病院	<ul style="list-style-type: none"> ○在宅医、訪問看護ステーション、ケアマネ等とのカンファレンス実施 ○医療連携会を開催し、地域における当院の役割を説明(年2回) 	<ul style="list-style-type: none"> ○在宅医、訪問看護ステーション、ケアマネ等とのカンファレンス実施 ○医療連携会を開催し、地域における当院の役割を説明(年3回) 	地域医療課
		済生会栗橋病院	<ul style="list-style-type: none"> ○地域医療構想に基づき、連携する地域の医療機関と担当する医療の範囲及び地域の実情に即した連携体制についての調整を行うことで、急性期医療から在宅医療へのシームレスな体制整備を行い、地域完結型医療を目指す。このことで、具現化する会議体を立ちあげ、地域を積極的にカバーする医療ネットワークを提案する。 ○入退院支援センターの専任看護師・MSWがケアマネージャーとの連絡を密にし、在宅医療を専門としているクリニック等に情報を提供している。入院時にも、連絡を取り合うことにより、さらに密な連携体制とする。 ○訪問看護ステーションのスタッフは、医師会主催の介護医療の会に出席する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○退院支援専従看護師3名 多機関共同指導（月2～3回） 退院時共同指導（年70件） 介護支援連携（年200件） ○平成29年度医師会主催の介護医療連携会出席 <ul style="list-style-type: none"> ・第1回管内訪問看護ステーション意見交換会(H29.4.17) ・第2回管内訪問看護ステーション意見交換会(H29.9.14) ・医師と訪問看護師の交流会(H29.11.24) 	入退院支援課

医療機関 医師会 薬剤師会 歯科医師会 各団体	在宅医療機関と 入院医療機関の 連携推進	東埼玉病院	○蓮田市・白岡市・宮代町在宅医療・介護関係者連携会議等を通して、多職種協働による在宅医療の支援体制等について検討を進めるとともに、顔の見える関係作りに取り組む。在宅医療提供体制充実支援事業の「在宅療養支援ベッド」の受け入れ病院として引き続き参加する。	○蓮田市・白岡市・宮代町在宅医療・介護関係者連携会議等を通して、多職種協働による在宅医療の支援体制等について検討を進めた結果、平成30年度より「在宅医療サポートセンター」として地域の在宅医療を支援することとなった。 ○在宅医療提供体制充実支援事業の「在宅療養支援ベッド」については、引き続き受け入れ病院として参加した。	総合診療科
		蓮田よつば病院	○かかりつけ医や近隣医療機関との連携を図るため定期的な訪問を行う。	○相談室が訪問、定期的に空床報告をし、連携を図った。	地域医療 相談室
		東埼玉総合病院	○在宅医療機関と入院医療機関の連携を推進 ○医療介護のさらなる連携を推進するために、地域包括支援センターを囲んでの意見交換会「地域包括ケアワーキング」を定期開催	○在宅医療提供体制充実支援事業において、3病院と登録医18名による在宅医療連携システムを実施。登録患者8名 ○サポートケア入院 10名 ○地域包括ケアワーキング 年間 8回開催	在宅医療 連携拠点 事業推進室
		白岡中央 総合病院	○地域連携の会の開催（平成29年度中に開催予定） ○在宅療養支援ベッドの推進（往診医より依頼があった際は速やかに対応する。） ○在宅医療機関へ情報交換と関係性の促進を目的に年3回程度の訪問を行う。 ○回復期退院バス作成による退院調整の強化 ○多職種参加による中間、退院前カンファレンスの実施 ○ベッドコントロール会議（月2回）による看護師、社会福祉士、セラピストとの情報共有の強化 ○回復期病棟の入院時訪問件数のアップ（年間24件目標（平成28年度実績：16件/年）） ○退院時訪問の件数アップ（年間20件目標（平成28年度実績13件/年）） ○地域診療科の新設（在宅医療担当の常勤医師の配置）	○地域連携の会（1st SHIRAOKA）を2月8日開催。（参加人数院外57名） ○在宅療養支援ベッドの体制を整えるも依頼なし。 ○在宅療養後方支援病院の届出を平成29年12月1日に行い、在宅医療機関と情報交換を実施。 ○回復期退院バスを作成中、導入に至らず。 ○多職種参加による中間、退院前カンファレンスの実施（延べ488件） ○ベットコントロール会議による情報共有の定期開催を実施。（月1回と適宜） ○回復期病棟入院時訪問件数（23件） ○退院時訪問件数（46件） ○地域診療科の新設。常勤医師1名配置。地域・医療連携センターの立ち上げ。	地域医療・ 連携センター リハビリテー ション技術科
医療機関 医師会 薬剤師会 歯科医師会 各団体	医療と介護が連 携した多職種協 働の推進	北埼玉医師会	○北埼玉医師会内に設置した「北埼玉在宅医療連携室」が中心となり、「北彩あんしんリンク」（MCS）にチャレンジする。	○完全非公開型医療介護SNS（メディカルケアステーション）を活用した「北彩あんしんリンク」運用開始。医療・介護専門職の登録は100名を超えて、患者情報グループは延べ27グループを作成。専門職間の連携に有効なスキルとなった。 ○平成29年10月13日には多職種の方々93名の参加を得て、地域包括ケアシステム研修会を主催した。その結果は埼玉県医師会誌に掲載した。	北埼玉在宅 医療連携室
		行田市医師会	○多職種による在宅医療連携の会議を実施している。	○多職種による在宅医療連携の会議を実施した。	会 長
		南埼玉郡市 医師会	○年2回（9月、2月）に在宅医療研究会を開催予定	○平成29年9月及び平成30年2月に在宅医療研究会を開催した。	
		埼玉葛地区 医師会	○埼玉葛地区拠点窓口の活動強化	○埼玉葛地区拠点窓口の活動強化	会 長
		蓮田市 歯科医師会	○在宅医療連携推進協議会への参加、取組強化	○在宅医療連携推進協議会への参加、取組強化	会 長
		行田市 歯科医師会	○行田市健康福祉部高齢者福祉課主催の多職種連携会議への参加と北埼玉地区在宅歯科医療推進窓口地域拠点のPR	○行田市健康福祉部高齢者福祉課主催の多職種連携会議への参加と北埼玉地区在宅歯科医療推進窓口地域拠点のPR ケアマネージャー連絡会での講話	会 長
		羽生市 歯科医師会	○介護関連施設及び障がい者施設での口腔ケア、歯科保健指導 ○医師会、薬剤師会、介護支援専門員との口腔ケアの重要性について、協議 ○介護支援専門員の総会に出席して、口腔ケア・口腔機能の回復の重要性・訪問歯科の利用について説明 ○地域包括ケアシステムモデル事業の自立支援型地域法価値ケア会議に参画	○介護関連施設及び障害者施設での口腔ケア、歯科保健指導を行った ○医師会、薬剤師会、介護支援専門員との口腔ケアの重要性について協議しました。 ○介護支援専門員の総会に出席して、口腔ケア、口腔機能の回復の重要性・訪問歯科の利用について説明しました。 ○市域包括ケアシステムモデル事業の自立支援型地域包括ケア7会議に参画しました。 ○「とねっと」の会議に参加しました。	会 長
		幸手薬剤師会	○訪問薬剤師の同行訪問 ○介護職員との研修会を実施	○居宅訪問薬剤師の育成。介護職員との勉強会実施。	
杉戸・宮代 薬剤師会	○在宅医療連携推進に関する講習会への参加	○定期的に開催されている研修会、会議への参加（人数不明）	会 長		

医療機関 医師会 薬剤師会 歯科医師会 各団体	医療と介護が連携した多職種協働の推進	行田市薬剤師会	○行田市、行田市医師会、行田市歯科医師会とともに地域包括ケアシステムの構築を目指し、在宅医療と介護の連携を図る	○行田市在宅医療・介護連携推進協議会への参加 ○行田市、行田市医師会、行田市歯科医師会、行田市薬剤師会が連携して月1回のミーティングに参加 ○地域包括ケアシステムの構築をしている。	
		羽生市薬剤師会	○医師会、歯科医師会、行政との連携の継続 ○ケアマネとの連携の強化	○三師会を通じての医師会、歯科医師会、行政との連携の継続 ○地域ケア会議を通じたケアマネとの連携の強化	
		行田中央総合病院	○行田市医師会と連携して在宅医療支援センターを運営し、在宅医療における医師、歯科医師、コメディカル等を紹介する「在宅主治医等紹介システム」を運営する ○行田市・医師会・歯科医師会・薬剤師会が連携して月1回開催するミーティングに参加し、連携・多職種協働の動きに対し協力していく。 ○多職種連携会議への参加、協力	○行田市医師会と連携して在宅医療支援センターを運営し、在宅医療における医師、歯科医師、コメディカル等を紹介する「在宅主治医等紹介システム」を運営した。 ○行田市・医師会・歯科医師会・薬剤師会が連携して月1回開催するミーティングに参加し、連携・多職種協働の動きに対し協力をした。 ○多職種連携会議へ職員を参加させるなど、協力を図った。	地域連携室等
		行田総合病院	○多職種連携会議や地域のケアマネ会へ参加して医療と介護の連携を図る。	○MSWやセラピストが多職種連携会議に参加して意見交換を行い、情報共有を図った。	MSW リハビリ
		中田病院	○居宅介護支援事務所、介護施設、地域包括センター等と連携し、情報共有を図る。 ○訪問看護ステーションと連携し、病院から在宅への移行や状態変化時、病院の受け入れをスムーズにする。 ○患者、家族が安心して在宅で療養できるようかかりつけ医や多職種との情報共有に努める。	○退院支援看護師やMSWによる退院前カンファレンス実施による、在宅サービス事業者との情報交換を積極的に行った。 ○リハビリ後の退院において、積極的に家屋調査を実施し在宅において、在宅サービス事業者と当院のリハビリスタッフ・MSWが意見を交換した。	地域医療 連携室 病棟・医局 訪問診療 訪問看護 ステーション
		羽生総合病院	○訪問リハビリ、訪問介護、居宅介護支援センター等で連携を行い、医療、介護の枠を超えた患者本位の支援体制を構築する。	○訪問リハビリ、訪問介護、居宅介護支援センターとの連絡や連携を積極的に行うことが出来た。 ○医療と介護は常に隣り合わせて積極的に患者本位の体制を取れた。	医療相談室 地域連携室 リハビリ部門
		済生会栗橋病院	○保健センター、地域包括支援センターを中核として、地域の医療機関と介護施設との意見交換の場作りをすることで、相互協力の環境整備を行う。 ○訪問看護ステーションの看護師・医師が退院調整担当のMSWと連携をさらに密にする。また、在宅リハビリテーションに向けて、理学療法士が訪問看護に随行することを実践する。	○病院長地域施設訪問：（年17件） 連携医療機関との情報交換：延べ171件 ○訪問看護師・理学療法士が病棟カンファレンスに参加（9診療科、週1回）し、多職種との連携を図った。	入退院支援課
		東埼玉病院	蓮田市・白岡市・宮代町在宅医療・介護関係者連携会議等を通して、多職種協働による在宅医療の支援体制等について検討を進めるとともに、顔の見える関係作りに取り組む。また、メディカルケアステーションの試運用を医師会からの依頼で行っており、引き続き試運用の結果を医師会や上記連携会議に適宜報告する。	○蓮田市・白岡市・宮代町在宅医療・介護関係者連携会議等を通して、多職種協働による在宅医療の支援体制等について検討を進めた結果、平成30年度より「在宅医療サポートセンター」として地域の在宅医療を支援することとなった。 ○メディカルケアステーションの運用については、引き続き活用することとし、医師会及び上記連携会議にて報告する。	総合診療科
		蓮田病院	○2市1町の在宅医療研修会への積極参加と活用 ○埼玉県勤める「MCS」導入を視野に入れた、在宅介護分野との医療連携の推進	○在宅医療研修会：年8回参加 ○OH30.10に経過報告会があり、院内にて導入検討を行う。	病診連携室
蓮田よつば病院	○蓮田市在宅医療介護連携会議及び代表者委員会への出席 ○地域ケア会議や地域のケアマネ会へ参加して医療と介護の連携を図る。 ○病院主催の地域交流会の定期開催。 ○蓮田市医師会との連携強化。認知症懇話会への出席。	○各月連携会議、勉強会を開催し、地域担当者の方と連携	地域医療 相談室		
東埼玉総合病院	○定期的学習会の開催 ○交流会「ケアカフェ」の定期開催 ○医療介護のさらなる連携へ向けた会議の開催 ○在宅医療啓発イベントの開催 ○医療と介護の一体的な提供体制の構築	○定期的学習会および交流会「ケアカフェ幸手」 6回 329人参加 ○北葛北部在宅医療介護連携推進協議会運用 ○在宅医療を考える市民の集い 1月28日開催 115人参加 「地域丸ごと相談電話」 相談者2110人	在宅医療 連携拠点 事業推進室		

医療機関 医師会 薬剤師会 歯科医師会 各団体	医療と介護が連携した多職種協働の推進	白岡中央総合病院	<ul style="list-style-type: none"> ○地域交流会の開催と継続 ○白岡市リハビリテーション協議会を通しての市内セラピストとの連携強化 ○平成29年度訪問リハビリ提供利用者数の拡大（前年比+30単位/月で目標745単位/月） ○介護保険事業所（通所リハ、通所介護等）のセラピストとの利用者情報共有強化 ○地域ケア会議に参加して医療と介護の連携強化 ○地域診療科の新設（在宅医療担当の常勤医師の配置） 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域交流会を第1回9月15日/第2回1月19日実施。（第1回院外参加機関：23施設 参加人数：45名/第2回院外参加機関：15施設 参加人数：33名） ○平成29年度白岡市リハビリテーション協議会 開催数5回 ○平成29年度訪問リハビリ提供利用者数（前年比+394単位/月平均実績1109単位） ○連携居宅介護支援事業所数 31.4件/月（訪問リハ関係） ○地域ケア会議参加 理学療法士2回 作業療法士3回 合計5回 ○地域診療科の新設。常勤医師1名配置。地域・医療連携センター 	地域医療・連携センターリハビリテーション技術科
		新しらか病院	<ul style="list-style-type: none"> ○地域包括支援センターとの連携、訪問して定期的な相談を行い地域医療提供体制の充実を図る。 ○地域医療機関への定期的な訪問、連携の強化 ○白岡市役所と連携して、認知症初期集中治療チームを派遣 ○訪問看護、居宅介護包括ケアセンターとの医療連携 ○在宅医療支援のため、当院より医師を派遣（往診） 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域包括支援センターとの連携、訪問して定期的な相談を行い地域医療提供体制の充実を図った。 ○地域医療機関への定期的な訪問、連携の強化 ○白岡市役所、宮代町役場と連携して、認知症初期集中治療チームを派遣 ○訪問看護、居宅介護包括ケアセンターとの医療連携 ○在宅医療支援のため、当院より医師を派遣（往診） 	
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	地域完結型医療の推進	北埼玉医師会	○医療機関の連携ツールとして開発、運用してきた「とねっと」の更なる発展に向けてチャレンジする。	○「とねっと」は着実に市民に浸透し、市民に「とねっと」を通じて「地域完結型医療」の大切さが認識されるようになった。この点は高く評価される実績。	担当理事
		行田市医師会	○2病院の地域医療連携室を介し、患者の紹介、逆紹介を行っている。	○2病院の地域医療連携室を介し、患者の紹介、逆紹介を行った。	会長
		埼玉歯科医師会	○地域連携病院との連携強化	○地域連携病院との連携強化	会長
		北埼玉歯科医師会	○地域連携病院の病院の深谷日赤病院との関係強化	○地域連携病院の深谷日赤病院との関係強化と講演会参加	理事地域包括部長
		行田市歯科医師会	○地域連携病院の行田中央総合病院、行田総合病院との関連強化	○地域連携病院の行田中央総合病院、行田総合病院との関連強化と講習会参加	会長
		久喜白岡薬剤師会	○新久喜総合HP、済生会栗橋HP、白岡中央HP、薬剤部との情報共有	○新久喜総合HP、済生会栗橋HP、白岡中央HP、薬剤部との情報共有	会長
		行田中央総合病院	○行田市医師会在宅連携拠点と連携して、かかりつけ医との連携を図る	○行田市医師会在宅連携拠点と連携して、かかりつけ医との連携を図った。	地域連携室
		行田総合病院	○かかりつけ医との連携強化	○近隣医療機関への定期的な訪問を実施して診療体制の情報共有を図った。	地域連携室
		中田病院	○在宅医療・医療連携の会への参加。顔の見える関係づくり強化する。	○逆紹介を推進してかかりつけ医との連携を行った。	地域医療連携室
		羽生総合病院	○かかりつけ医との連携を強化し、紹介患者の受入れや適切な逆紹介を行っている。	○地域の連携の会へ参加し、顔の見える関係づくりを積極的に行った。	地域連携室
		新久喜総合病院	○協力医療機関との連携会議実施	○患者さんがかかられている地域のかかりつけ医からの紹介や、地域の近くの医療機関への紹介なども積極的に行うことが出来	地域医療課
		済生会栗橋病院	○多職種との病棟カンファレンス	○協力医療機関との連携会議実施	地域医療課
		済生会栗橋病院	○地域医療構想に基づき、地域の医療提供体制の再編が求められているなかで、地域中核病院として、地域における病院群としての医療機能を整備すべく、定期的な情報交換の場作りを行う。	○多職種との病棟カンファレンス	入退院支援課
		東埼玉病院	○他の急性期病院との補完性を高めるとともに、クリニック等との情報共有に努める。また、当院の診療科の整備を充実する。	○地域連携カンファレンスの実施（年3回）	総合診療科
蓮田病院	○蓮田市・白岡市・宮代町在宅医療・介護関係者連携会議等を通して、地域完結型の在宅医療の推進等について検討を進めるとともに、顔の見える関係作りに取り組む。	○蓮田市・白岡市・宮代町在宅医療・介護関係者連携会議等を通して、多職種協働による在宅医療の支援体制等について検討を進めた結果、平成30年度より「在宅医療サポートセンター」として地域の在宅医療を支援することとなった。	経営企画室		
蓮田つば病院	○医療連携懇話会などを通じて定期的な情報交換を行う。	○当院開催：年2回 参加（他院）：年9回	経営企画室		
蓮田つば病院	○訪問看護ステーションの機能強化型の取得	○強化型は次年度に、支援チームは訪問数を増やしている。	QOL推進部		
蓮田つば病院	○認知症初期集中支援チームによる訪問促進				

医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	地域完結型医療 の推進	東埼玉総合病院	○地域ケア会議の開催 ○地域包括ケアにおけるワンストップ相談窓口である「暮らしの保健室」の設置場所を各地域に拡大（目標40箇所） ○地域包括ケアシステムの中核的役割を担う。	住民主催の地域ケア会議の開催 2回 暮らしの保健室 38ヶ所（270回開催）	在宅医療 連携拠点 事業推進室
		白岡中央 総合病院	○地域の医療機関からの紹介と逆紹介件数の推進（紹介数268件／月、逆紹介数85件／数） ○地域連携の会の開催による診療科ごとの情報提供 ○地域診療科の新設（在宅医療担当の常勤医師の配置）	○地域の医療機関からの紹介と逆紹介件数の推進（紹介数273件／月、逆紹介数86件／月） ○地域連携の会（1st SHIRAOKA）を2月8日開催。当院16診療科より紹介。 ○地域診療科の新設。常勤医師1名配置。地域・医療連携センターの立ち上げ。	地域医療・ 連携センター

4 健康づくり対策

（目標）

健康と栄養・食生活について正しい知識の普及啓発を図り、生活習慣を改善して病気の発症を予防する「一次予防」を推進します。

健全な食生活や健康的な生活環境の基盤づくりを進め、個人の健康づくりの取組を積極的に支援します。

特定健康診査、がん検診の受診率の向上に努め、的確な保健指導を着実に実施します。

実施主体	主な取組	機関名	平成29年度実施計画	平成29年度取組実績	担当部署
医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	健康づくりや生活習慣病予防に関する正しい知識の普及啓発	北埼玉医師会	○単独事業の計画はないが、埼玉県、加須市、羽生市の事業に積極的に協力をする。	○概ね計画どおり実施	会 長
		行田市医師会	○市の関連会議に参加・協力している。	○市の関連会議に参加・協力した。	会 長
		南埼玉郡市 医師会	○会員医療機関において、特定健診28, 000件を実施予定	○会員医療機関において、27, 624件の特定検診を実施した。	
		埼玉歯科医師会	○8020高齢者よい歯のコンクールの開催と啓発活動の強化	○8020高齢者よい歯のコンクールの開催と啓発活動の強化	公衆衛生部
		久喜市 歯科医師会	○個別成人健診 ○市民健康まつりでの歯科相談 ○節目健診の実施	○個別成人健診 ○市民健康まつりでの歯科相談 ○節目健診の実施	会 長
		蓮田市 歯科医師会	○個別成人健診 ○市民健康まつりでの歯科相談 ○節目健診の実施	○個別成人健診 ○市民健康まつりでの歯科相談 ○節目健診の実施	会 長
		幸手市 歯科医師会	○個別成人健診 ○市民健康まつりでの歯科相談 ○節目健診の実施	○個別成人健診 ○市民健康まつりでの歯科相談 ○節目健診の実施	会 長
		白岡市 歯科医師会	○個別成人健診 ○市民健康まつりでの歯科相談 ○節目健診の実施	○個別成人健診 ○市民健康まつりでの歯科相談 ○節目健診の実施	会 長
		宮代町 歯科医師会	○個別成人健診 ○市民健康まつりでの歯科相談 ○節目健診の実施	○個別成人健診 ○市民健康まつりでの歯科相談 ○節目健診の実施	会 長
		杉戸町 歯科医師会	○個別成人健診 ○市民健康まつりでの歯科相談 ○節目健診の実施	○個別成人健診 ○市民健康まつりでの歯科相談 ○節目健診の実施	会 長
		行田市 歯科医師会	○行田市健康福祉部高齢者福祉課との連携強化に伴う、「健康達人塾」への歯科医師派遣や、「長親健口体操」の実施とサポーター養成	○行田市健康福祉部高齢者福祉課との連携強化に伴う、「健康達人塾」への歯科医師派遣や、「長親健口体操」の実施とサポーター養成	会 長
		加須市 歯科医師会	○個別成人歯科検診 問診や検査に基づき、歯周疾患及び歯に及ぶ歯肉に関する予防や生活習慣の改善について、保健指導（予防指導）を行う。 ○歯周病予防講座 歯周病専門医による講話	○受診者数 267名 ○受講者数 12名	
羽生市 歯科医師会	○歯科保健普及啓発事業 羽生市福祉健康まつりにて、歯科健康相談を通して口腔衛生に関する知識の普及啓発を行う。 ○羽生市口から考える子供たちの健康づくり研究会	○歯科保健普及啓発事業、羽生市福祉健康まつりにて、歯科健康相談を通じて口腔衛生に関する知識の啓発を行いました。 ○羽生市口から考える子供たちの健康づくり研究会を開きました。			

医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	健康づくりや生活習慣病予防に関する正しい知識の普及啓発	久喜白岡 薬剤師会	○市祭りにおいて薬物乱用防止の啓発 ○子供調剤体験を通して薬剤師の仕事を知ってもらう	○市祭りにおいて薬物乱用防止の啓発 ○子供調剤体験を通して薬剤師の仕事を知ってもらう	
		幸手薬剤師会	○ロコモ体操啓発資料の配布 ○ロコモ体操啓発活動 ○健康福祉まつりでの健康相談会実施 ○薬局での栄養相談実施 ○薬物乱用防止活動	○健康福祉まつりでの健康相談実施。市内2薬局において毎月健康イベント実施。薬局内での管理栄養士による栄養相談実施。ロコモ度チェック活動実施。骨粗鬆症予防実施。薬物乱用防止教室を3校で実施。	
		杉戸・宮代 薬剤師会	○杉戸町の産業祭において、血圧測定及び健康相談を実施予定 ○薬物乱用防止教室において、地域での啓発活動を実施	○産業祭でのBP測定、健康相談実施 ○小中学校での防止教室の実施	
		行田市薬剤師会	○日本禁煙学会認定禁煙サポーターのいる薬局にて、行田市、行田市医師会、行田市歯科医師会と連携してスモーカーライザーを使い禁煙を呼びかけていく。また、この取組を日本禁煙学会で発表する予定。	日本禁煙学会認定禁煙サポーターのいる薬局、及びイベント会場（行田市医師会主催健康フォーラム、行田市鉄剣マラソン会場など）で、事業開始以来257名（うち平成29年度は109名）測定し、33名（同8名）を禁煙外来に受診勧奨した。また、この取り組みを日本禁煙学会学術総会（京都）で発表した。	
		羽生市薬剤師会	○健康福祉まつりにて、かかりつけ薬剤師の普及啓発 ○薬物乱用防止教室の継続	○10月29日健康福祉まつりにて、かかりつけ薬剤師の普及啓発 ○学校薬剤師による薬物乱用防止教室の継続	
		行田中央 総合病院	○院内での健康まつりにおける健康啓発講演や各種展示の実施 ○行田市医師会、教育委員会と連携して、小学校での禁煙教育の実施	○院内で「市民健康まつり」において、健康啓発講演や各種展示の実施した。 ○行田市医師会、教育委員会と連携して、小学校での禁煙教育に講師を派遣	
		行田総合病院	○健康相談等で栄養指導等の実施	○生活習慣予防のための栄養指導を積極的に推進し、栄養指導を継続実施した。	栄養科
		中田病院	○地域住民を対象とした公開講座を開催。健康教育や生活習慣病予防のための知識向上を図る。	○9月に糖尿病を題材とした公開講座を開催	地域医療 連携室
		羽生総合病院	○地域の住民を対象に医療講演を開催し、自身の健康について意識付けを行う。他医療機関と連携を図り、健康教育や保健指導といった予防医療を強化する。	○医療講演・健康講座を開催し、地域の方へ健康への意識付けを行えた。○他医療機関と連携を図ることが出来、病気の予防に努めることが出来た。	地域連携室 事業部
		新久喜 総合病院	○人間ドック等の推進・受診啓発 ○地域住民対象の病院内外での健康教室開催（年90回） （栄養指導・骨粗しょう症・生活習慣病について等）	○人間ドック等の推進・受診啓発 ○地域住民対象の病院内外での健康教室開催（年103回）（栄養指導・骨粗しょう症・生活習慣病について等）	健康管理 センター
		済生会栗橋病院	○当院が主体的に行う「出張市民講座」や「健康相談」の場で、メタボリック症候群やがん予防・早期発見について情報提供を行う。	出張市民講座において、「救急対応」「末梢動脈疾患」「心臓病と高血圧」「がん予防・治療」「腎臓疾患」「ロコモティブシンドローム予防」についての講演を行った。（延361名参加）	地域医療連 携センター
		新井病院	○地域のイベント（久喜市民祭り参加予定）に参加し、生活習慣病予防の啓発活動を行う。 ○年2回の市民講座を開催し、健康に関する正しい知識を習得	○久喜市民祭りにて生活予防習慣の啓蒙活動 300名来場 ○久喜市広報の協力を得て久喜市全体に市民講座を案内 ○年2回の市民講座開催（テーマ 長寿の秘訣・体に必要な食品）	看護部
		蓮田よつば病院	○認知症カフェ「はすカフェ」の月一回の定期的な開催 ○認知症予防教室の月一回の定期的な開催	○毎月「はすカフェ」、予防教室を開催	QOL推進部
		秋谷病院	○予防医療の院内掲示を行い、啓発活動を行う。	○予防医療の院内掲示による啓発活動を行った。	医事課
東埼玉総合病院	○住民を対象とした市民公開講座を開催し、医療機関、医師会、行政（幸手市、杉戸町、宮代町）と連携し、健康教育や保健指導等予防のための取組を行う。 ○骨粗鬆症リエゾンサービス委員会において、地域への啓発活動として市民公開講座へ参加する。	○市民公開講座を年3回開催した。 後援：幸手市・杉戸町・宮代町 内容：医療講演、健康測定、各種相談 ①7月15日（土）「高血圧症」「静脈瘤」について ②11月18日（土）「大腸ポリープ」「大腸がん」について ③2月17日（土）「夜間頻尿」「尿路結石」について ※骨粗鬆症リエゾンサービス委員会より骨粗鬆症相談コーナーを出展し、参加者の骨粗鬆症発症リスク測定や健康相談を行った。 ○骨粗鬆症リエゾンサービスに関して、外部のコメディカル向けに医師による講演を行った（4回）。 ○地域における骨粗鬆症サポーター制度の創設・運用において、骨粗鬆症リエゾンサービス委員会にて医師会と協働した。 ○骨粗しょう症検診の拡大において、医師会と協働し、院内において積極的に広報している。	地域医療 推進部		

医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	健康づくりや生活習慣病予防に関する正しい知識の普及啓発	白岡中央総合病院	○院外活動への積極的な参加をし、健康相談を行う（5月12日の看護の日や8月5日の白岡祭り等）。 ○行政との連携強化し、白岡市リハビリ連絡協議会で体操作成	○5月12日の看護の日のイベント、8月5日の白岡まつりにて健康相談の実施（健康相談実施数、両日100名以上） ○白岡市地域はつらつ応援事業からの委託として「ストレッチ」「筋力トレーニング」の体操を完成させた。	健康管理課 リハビリテーション技術科
		新しらか病院	○オレンジカフェ参加 ○オレンジカフェや近隣介護施設等にて講演を行い、認知症予防に関する正しい知識の普及を継続して行う。	○オレンジカフェ参加 ○オレンジカフェや近隣介護施設等にて講演を行い、認知症予防に関する正しい知識の普及を継続して行った。	看護部 医療相談室
		行田市食生活改善推進員協議会	○食生活改善推進員養成講座の実施 ○健康講話と調理実習を通した健康教育 ○田んぼアート、農業祭への参加 ○親子の料理教室の実施 ○特定保健指導食事実践協力 ○健康教育及び健康講座に参加し、食の普及啓発 ○食改全体研修会（ウエルネスセミナー）開催	○食生活改善推進員養成講座の実施（12回 参加人数述べ31名） ○健康講話と調理実習を通したリーダー研修の実施（8回 参加人数述べ150名） ○鉄剣マラソンに参加（従事人数述べ34名） ○田んぼアートに参加（2回 従事人数述べ32名） ○農業祭に参加（従事人数述べ26名） ○親子の料理教室の実施（従事人数述べ7名） ○特定保健指導食事実践協力（2回 従事人数述べ5名） ○ママパパ教室協力（4回 従事人数述べ8名） ○保育園食育訪問協力（3回 従事人数述べ6名） ○健康教育及び健康講座に参加し、食の普及啓発 ○食改全体研修会（ウエルネスセミナー）開催（参加人数述べ23名）	保健センター
		羽生市健康運動普及推進員協議会	○健康運動普及推進員による運動習慣の普及	○健康運動普及推進員による運動教室等の延参加者数10,012人	健康づくり推進課
		羽生市食生活改善推進員協議会	○食生活改善推進員による調理実習を通した正しい食習慣の普及 ○市民福祉健康まつりにて、健康づくりに関する知識の普及・啓発	○食生活改善推進員による調理実習を通した正しい食習慣の普及啓発（回数：42回、参加人数：714名） ○市民福祉健康まつりにて、試食配布（600食）、野菜350g重さ当てクイズ、みそ汁の塩分測定を実施。	健康づくり推進課
		久喜市食生活改善推進員協議会	○保健事業の協力や自主事業、諸団体からの依頼講習会等を通して、子供から高齢者に対し食育の推進に取り組み、また、食を中心とした生活習慣予防に関する知識の普及・啓発を行う。	○むし歯予防教室、骨の健康チェックにて試食提供 ○「愛育まつり」「やさしさときめきまつり」「コスモスフェスタ」等のイベントに参加試食提供 ○「カルシウムUP講習会」開催 ○「高血圧予防教室」開催 ○「育児中ママのクリスマスケーキ作り」開催 ○子ども放課後教室「ゆうゆうプラザ」協力 ○「地域子育てセンター利用者クッキング」協力 ○「いきいきクッキング」協力 ○高齢者大学料理クラブ調理指導 ○視覚障害者グループ調理実習指導 料理教室、高齢者サロン利用者クッキング、公民館事業協力、正月料理講習会開催	中央保健センター
		蓮田市食生活改善推進員協議会	○健康まつりにて減塩みそ汁、野菜不足解消等、生活習慣病予防のアドバイスを対面と冊子を配布しながら行う。 ○年間を通じて、食の大切さを取り入れた予防教室を開催し、市民の健康意識を高める。	○29年度は健康まつり実施せず。 ○伝達講習会において生活習慣病予防食の調理実習を実施 14回203名	健康増進課
		幸手市食生活改善推進員協議会	○健康福祉まつりにて試食や展示を行い、生活習慣病予防につながる食生活や健康づくりに関する知識の普及・啓発 ○米料理教室の実施	○健康福祉まつりにて試食や展示を行い、生活習慣病予防につながる食生活や健康づくりに関する知識の普及・啓発（延べ278人）	健康増進課
白岡市食生活改善推進員協議会	○各種料理教室の開催。 男性料理教室「減塩調理実習」 ロコモ予防教室「骨太クッキング」 ○母子愛育会との協働による減塩習慣指導の実施 ○健康まつりへの参加「ロコモ予防食の試供品の提供」 ○減塩推進スキルアップ事業の開催	○男性料理教室「米料理教室」 24名 ○減塩推進スキルアップ事業 26名 ○母子愛育会との協働による料理教室 16名 ○健康まつりへの参加「ロコモ予防食の試供品の提供」 600食	健康増進課		

医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	健康づくりや生活習慣病予防に関する正しい知識の普及啓発	宮代町食生活改善推進員協議会	○各種料理教室において、バランスのよい食生活について簡単な講話や調理実習を実施する。 ○「ヘルスメイトが繋ぐパートナーシップ事業」として、塩分測定器を用いた減塩普及活動を行う。 ○「生活習慣病予防のための食生活改善支援事業」として、生活習慣の改善に向けた講話やヘルシーメニュー（1食あたり野菜120g以上、塩分3g未満）の調理実習を行う。	○料理教室を通じて、生活習慣病予防及び健康づくりに関する普及啓発を行った。（延べ528人参加） ○「ヘルスメイトが繋ぐパートナーシップ事業」として、地域において塩分測定器等を用いて減塩を呼びかけた。	健康介護課
		杉戸町食生活改善推進員協議会	○生活習慣病予防料理教室を開催する。 ○地域の健康づくりの牽引者を養成する「すぎと健康アカデミー」事業協力（調理実習講師等）	○「旬の野菜をたっぷりとり」「暑さに負けない簡単バランスメニュー」「血糖値の急上昇を防ぐ食事」「筋肉を減らさない食事のコツ」等をテーマとした料理教室を実施した。 ○地域の健康づくりの牽引者を養成する「すぎと健康アカデミー」事業において、「カロリー控えめ肥満予防」「脂質異常症予防」をテーマとした料理教室を実施した。	健康支援課
医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	民間企業や地区組織など、多様な主体が連携した健康増進計画の策定及び推進	北埼玉医師会	○地域産業保健センターの運営主体として、加須市、羽生市の従業員50人未満の事業所の産業衛生の向上のための各種事業を行う。	○概ね計画どおり実施	会長
		埼玉葛藤歯科医師会	○事業所健診の実施と啓発活動の強化	○事業所健診の実施と啓発活動の強化	会長
		北埼玉歯科医師会	○保険組合による企業検診への協力	○保険組合による企業検診への協力	会長
		行田市歯科医師会	○保健組合による企業健診への協力	○保健組合による企業健診への協力	会長
		行田総合病院	○医師や看護師を企業に派遣し、健康のための指導・講演会を実施	○産業医となっている企業や依頼を受けた企業に訪問して、健康指導や講演会を実施した。	医師
		中田病院	○特定健診実施増加に向け、広報活動を強化する。 ○地域住民の会合の場で講演や健康のための運動指導など実施する。	○9月に実施した公開講座において、リハビリスタッフによる健康体操の実演をした。	地域医療連携室 医師
		羽生総合病院	○産業医による定期訪問、指導を行う。 ○特定健診や企業検診の強化	○産業医で定期訪問、指導を行うことが出来た。 ○特定健診や企業健診の強化を行うことが出来た。	健診センター
		新久喜総合病院	○当院医師による企業向け、地域（老人会・婦人会・民生委員等）向けの専門的講話及び健康体操の実施 ○健康教室の開催参加	○当院医師による企業向け、地域（老人会・婦人会・民生委員等）向けの専門的講話及び健康体操の実施 ○健康教室の開催参加	地域医療課
		済生会栗橋病院	○近隣の行政が主催する健康イベントにおいて、健康相談、医療相談のブースを構えることで、定期的に健康増進のための働きかけを行う。	「健康すくえあ」「看護の日」のそれぞれのイベントに、健康相談を行った。2017年4月21日には、加須市の西川ロジスティクスにおいて「救急対応」について看護師が出張市民講座を行った。	看護部
		新井病院	○医師を企業に派遣し、健康増進のための講演指導を行う。	○公共機関、民間企業の産業医として健康相談及び指導	看護部
		蓮田よつば病院	○自治会や民間企業等への認知症についての啓発活動の促進 ○認知症サポーター養成講座の開催	○自治会や民間企業等への認知症についての啓発活動の促進 ○認知症サポーター養成講座の開催	QOL推進部
		秋谷病院	○企業検診の受け入れ態勢の強化	○産業医による保健指導の実施	医事課
		白岡中央総合病院	○産業医の新規拡大（2社程度）を図り、従業員の健康づくりに貢献する。 ○体操教室による住民の健康づくり（9月5日、11月7日、平成30年1月16日、3月6日計4回/年予定） ○オレンジカフェ開催（10月10日、12月5日、平成30年2月6日計3回/年予定）にて住民への認知症予防、啓発活動	○新規産業医契約締結（3社契約締結） ○体操教室（介護予防教室）開催（4回、延べ23名参加） ○オレンジカフェ（認知症カフェ）開催（3回、延べ19名参加）	健康管理課 リハビリテーション技術科
山王クリニック	○地域保健センターと連携を図り、継続的に支援ができるようにする。	○4市町の婦人科健診の受け入れ			
新しらおか病院	○オレンジカフェ参加 ○医師、看護師、精神保健福祉士をオレンジカフェ、近隣介護施設等に派遣し講演を行い、認知症に関する正しい知識の普及を行う。	○オレンジカフェ参加 ○医師、看護師、精神保健福祉士をオレンジカフェ、近隣介護施設等に派遣し講演を行い、認知症に関する正しい知識の普及を行った。	看護部 医療相談室		
医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	生活習慣病の早期発見と的確な保健指導の推進	北埼玉医師会	○単独事業の計画はないが、埼玉県、加須市、羽生市の事業に積極的に協力をする。	○概ね計画どおり実施	会長
		行田市医師会	○特定健診をはじめ各種検診に協力している。	○特定健診をはじめ各種検診に協力した。	会長
		行田市歯科医師会	○行田市保健センターの糖尿病予防教室への講師派遣、あるいは行田市保健センター事業の市民健康大学への講師派遣	○行田市保健センターの糖尿病予防教室への講師派遣、あるいは行田市保健センター事業の市民健康大学への講師派遣	会長

医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	生活習慣病の早期発見と的確な保健指導の推進	羽生市 歯科医師会	○成人歯科相談 個々が有する口腔の悩みを解消し、口腔の健康の保持増進に努める。 ○成人歯科検診 40歳以上の方々に対し、各歯科医院で歯周病の予防及び口腔の健康の保持増進を行う。 ○8020よい歯のコンクール（北埼玉歯科医師会主催） ○高齢者歯科保健指導 ○歯科食育教室	○成人歯科相談 個々が有する口腔の悩みを解消し、口腔の健康の保持増進に努める。 ○成人歯科検診 40歳以上の方々に対し、各歯科医院で歯周病の予防及び口腔の健康の保持増進を行う。 ○8020よい歯のコンクール（北埼玉歯科医師会主催）を行う。 ○高齢者歯科保健指導を行う。 ○歯科食育教室を開きました。	
		行田中央 総合病院	○特定健診、特定保健指導の充実	○特定健診1665名実施、特定保健指導計26名実施	健康管理 センター
		行田総合病院	○特定健診や人間ドックの更なる充実	○広報誌にして毎月健診案内を掲載し、健康診断の実施を促すことで早期発見とその後のフォローを実施した。	健診担当
		中田病院	○糖尿病の医療講演等において個別相談に対応する。	○9月に糖尿病を題材とした公開講座を開催。看護師・臨床検査技士・管理栄養士による健康相談の実施	健康推進課
		羽生総合病院	○医療講演にて生活習慣病についての意識付け。各種健診の案内と受診しやすい環境づくり	○医療講演・健康講座を開催時には積極的に参加。外来周辺には健康診断を受診を促がす掲示物を設置。	事業部 健診センター
		新久喜 総合病院	○巡回検診・施設内検診（人間ドック）の充実推進	○巡回検診・施設内検診（人間ドック）の充実推進	健康管理 センター
		済生会栗橋病院	○健診センターにおける特定健診や健康診断を通じて、生活習慣病に対する個別指導を徹底する。また、健診受診者を増やすべく、広報活動に力を入れる。	○特定健診の当日検査結果の確認と当日階層化への取り組みを実施 ○生活習慣病予防のための保健指導・受診勧奨 ○事業所等、営業活動の実施 ○ウェブサイトの見直しとパンフレットの見直し、リーフレット	健診センター
		新井病院	○市民祭り、市民講座、糖尿病教室等にて生活習慣病に対する啓発活動	○パンフレット配布や呼びかけによる健診及びドックの受診推奨	看護部
		秋谷病院	○特定健診の啓発活動	○特定健診の協力や各種類の健康診断の実施	医事課
		白岡中央 総合病院	○結果説明時に異常所見があった場合はそのまま外来受診を促すことにより早期発見、早期治療を目指す。	○検査異常者に対し、健康管理課にて外来予約の対応を行い、待ち時間の短縮を行うことにより受診しやすい環境を整えた。	健康管理課
医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	地域、学校等における食育の推進	北埼玉医師会	○医師会員が学校医として健康教育の一環である食育の推進に努める。	○概ね計画どおり実施	会 長
		行田市医師会	○各種会議に出席、協力している。	○各種会議に出席、協力した。	会 長
		久喜市 歯科医師会	○久喜市食育健康まつりへの参加	○久喜市食育健康まつりへの参加	会 長
		北埼玉 歯科医師会	○公民館や学校での食育講話	○公民館や学校での食育講話	
		行田市 歯科医師会	○公民館あるいは市内小中学校への食育講話	○公民館あるいは市内小中学校への食育講話	会 長
		行田市薬剤師会	○地域の公民館、学校、各種団体などで食育の推進を実施	行田市内小中学校、公民館などで食育の講義を実施した。	
		羽生総合病院	○地域の学校にて生徒、保護者、職員を対象に食育についての医療講演を開催する。	○院外医療講演を通じて食育の推進ができた。	事業部 栄養科
		済生会栗橋病院	○食育セミナー等を通して、食育の重要性を啓発できるようにする。	○2017年6月25日に「自分の身体にあった食事量を知ろう」というテーマで、適量でバランスのよい食生活・食習慣に対する正しい知識の普及活動を行った。 ・ランチョンマットの配布（120枚） ・栄養相談	栄養科
		白岡中央 総合病院	○小児科外来の案内板に子供の食育に関するポスター掲示を行い、啓発活動を行う。	○小児科外来フロアに食育に関するパンフレットを常時設置とした。	栄養科
		加須市食生活改善推進員協議会	○推進員や市民を対象に講話や調理実習を通じて生活習慣病予防（特に、糖尿病および高血圧予防）を行っていく。 ○市イベントにおいて資料配布やポスター、呼びかけ、試食等を通じて野菜の摂取についての普及啓発や健診受診勧奨を行う。 ○自主活動や出前講座等で子どもから高齢者までの食育活動を継続して行う。	○推進員や市民を対象に講話や調理実習を通じて生活習慣病予防（特に、糖尿病および高血圧予防）を行っていく。 ○市イベントにおいて資料配布やポスター、呼びかけ、試食等を通じて野菜の摂取についての普及啓発や健診受診勧奨等を行う。 ○自主活動や出前講座等で子どもから高齢者までの食育活動を継続して行う。	健康づくり 推進課

医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	地域、学校等における食育の推進	羽生市食生活改善推進員協議会	○小学生を対象とした親子料理教室の開催	○親子おやつ作り教室の実施（回数：1回、参加者：13名） ○親子お魚クッキング教室の実施（回数：1回、参加者：18名）	健康づくり推進課
		杉戸町食生活改善推進員協議会	○小学生とその保護者を対象としたおやこ食育教室の開催	○小学生とその保護者を対象としたおやこ食育教室を開催した。	健康支援課
		幸手市食生活改善推進員協議会	○市内の小学生とその保護者を対象におやこ料理教室を開催（夏2日、冬1人）	○市内の小学生とその保護者を対象におやこ料理教室を開催（夏2日・冬1日開催、親子延べ104人）	健康増進課
		久喜市食生活改善推進員協議会	○「育児中ママのクリスマスケーキ作り」開催 ○子ども放課後教室「ゆうゆうプラザ」にて小学生に調理指導 ○「地域子育てセンター利用者クッキング」にて調理指導 ○正月料理講習会開催	○「育児中ママのクリスマスケーキ作り」開催 ○子ども放課後教室「ゆうゆうプラザ」にて小学生に調理指導 ○「地域子育てセンター利用者クッキング」にて調理指導 ○正月料理講習会開催	久喜市中央保健センター

5 親と子の保健対策

（目標）

親と子の悩みや不安を相談でき、必要な支援が受けられるような地域社会をめざします。
生後なるべく早い時期に乳児のいる家庭の状況を把握することにより、乳幼児のいる家庭の孤立化を防ぎます。
また、乳幼児健康診査のさらなる充実で、育児支援や児童虐待の早期発見の機能を強化します。
関係機関の連携を強化していくことにより、親と子の成長や発達を支援します。

実施主体	主な取組	機関名	平成29年度実施計画	平成29年度取組実績	担当部署
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	生後4か月ぐら いまでの乳児の 状況把握と育児 支援	北埼玉医師会	○加須市、羽生市からの委託として3か月健診を実施する。	○概ね計画どおり実施	会長
		行田市医師会	○4ヶ月児健診について、専門医療機関による個別健診を予定している。	○4ヶ月児健診について、専門医療機関による個別健診を実施した。	会長
		行田市 歯科医師会	○行田市保健センター事業のパパママ教室への講師派遣	○行田市保健センター事業のパパママ教室への講師派遣	会長
		羽生市 歯科医師会	○乳幼児健診 歯科保健指導 3か月 予定実施回数12回	○乳幼児健診 歯科保健指導 3か月 12回実施しました。	
		羽生総合病院	○当院出生児を対象とした乳幼児健康の実施	○当院出生児の親御様への積極的な健康講座を行うことが出来た。毎年開催している病院祭では赤ちゃん同窓会を開催出来た。	小児科 産婦人科
		山王ドーム クリニック	○予防接種の説明会の企画及び実施 ○生後1年までの個別相談に応じる。	○予防接種に関する説明会を月2回程度実施	
		白岡中央 総合病院	○育児の不安や疑問の解消（スキンケア等の乳児のお世話の仕方など） ○健診希望者への健康診断の実施	○育児の不安や疑問を解消できるよう、適宜相談を行った。 ○希望者に対する健康診断の実施	小児科
		加須市母子 愛育連合会	○遊びの広場や三世代交流会を開催	○遊びの広場を37回開催し、一般参加者数961人参加。また、三世代交流会を10回開催し、一般参加者数1301人参加。	健康づくり 推進課
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	育児支援に重点 をおいた乳幼児 健康診査の充実	北埼玉医師会	○加須市、羽生市からの委託として乳幼児健診を実施する。	○概ね計画どおり実施	会長
		久喜市 歯科医師会	○乳幼児歯科検診の充実 ○親子歯科教室の開催	○乳幼児歯科検診の充実 ○親子歯科教室の開催	会長
		蓮田市 歯科医師会	○乳幼児歯科検診の充実 ○親子歯科教室の開催	○乳幼児歯科検診の充実 ○親子歯科教室の開催	会長
		幸手市 歯科医師会	○乳幼児歯科検診の充実 ○親子歯科教室の開催	○乳幼児歯科検診の充実 ○親子歯科教室の開催	会長
		白岡市 歯科医師会	○乳幼児歯科検診の充実 ○親子歯科教室の開催	○乳幼児歯科検診の充実 ○親子歯科教室の開催	会長
		宮代町 歯科医師会	○乳幼児歯科検診の充実 ○親子歯科教室の開催	○乳幼児歯科検診の充実 ○親子歯科教室の開催	会長
		杉戸町 歯科医師会	○乳幼児歯科検診の充実 ○親子歯科教室の開催	○乳幼児歯科検診の充実 ○親子歯科教室の開催	会長
		行田市 歯科医師会	○行田市保健センター事業のパパママ教室への講師派遣	○行田市保健センター事業のパパママ教室への講師派遣	会長
		加須市 歯科医師会	○歯科相談 ○1歳6か月児、2歳児、3歳児歯科検診 ○歯LOW教室（2歳児、親と子の虫歯予防教室）	○相談者数 16名 ○検診受診率 ほぼ100% ○参加者数 130組 260人	

医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	育児支援に重点 をおいた乳幼児 健康診査の充実	羽生市 歯科医師会	○乳幼児健診 歯科保健指導 10か月 歯科検診及び歯科保健指導 1歳6か月・3歳 ○2歳児歯科検診 ○親子歯科教室 ○フッ化物塗布	○乳幼児健診 歯科保健指導 10か月 歯科検診及び歯科保健指導 1歳6か月・3歳 ○2歳児歯科検診 ○親子歯科教室 ○フッ化物塗布 全て行いました。	
		行田総合病院	○附属行田クリニックにて毎週木曜日・金曜日の週2回乳幼児健康診断を引き続き実施する。	○附属行田クリニックにて毎週木曜日・金曜日の乳幼児健診の体制を維持し、実施した。	医師
		羽生総合病院	○当院出生児を対象とした乳幼児健康の実施	院内における当院出生児の健康診断を定期的開催した。	小児科 産婦人科
		山王ドーム クリニック	○乳児健診の際に、助産師と個別相談できる時間を設ける。 ○計測デー実施により、発育・発達の相談に応じる。	○毎週月曜に乳児健診、毎週金曜に計測デーを実施	
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	子どもの心の健康に関する相談 や情報提供の充実	北埼玉医師会	○児童虐待防止ネットワークの中心的存在として、関係機関に助言するとともに、協力、連携に努める。	○概ね計画どおり実施	会長
		行田市 歯科医師会	○行田市保健センター事業のパパママ教室への講師派遣 ○行田市単独事業の2歳児歯科検診の実施 ○小学校就学前検診時の歯科講話の実施	○行田市保健センター事業のパパママ教室への講師派遣、行田市単独事業の2歳児歯科検診の実施、小学校就学前検診時の歯科講話の実施	会長
		羽生総合病院	○臨床心理士によるカウンセリング	○外来受診患者時などで院内コンサルで当院の臨床心理士へ積極的に紹介して行くことが出来た。	臨床心理士
医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	関係機関の連携 強化による子育て支援	北埼玉医師会	○児童虐待防止ネットワークの中心的存在として、関係機関に助言するとともに、協力、連携に努める。	○概ね計画どおり実施	会長
		北埼玉 歯科医師会	○母と子の良い歯のコンクール、ママ・パパ教室での講話、就学児歯科検診時の講話、2歳児歯科検診の実施	○母と子の良い歯のコンクール、ママ・パパ教室での講話、就学児歯科検診時の講話、2歳児歯科検診の実施	会長
		行田市 歯科医師会	○行田市保健センター事業のパパママ教室への講師派遣 ○行田市単独事業の2歳児歯科検診の実施 ○小学校就学前検診時の歯科講話の実施	○行田市保健センター事業のパパママ教室への講師派遣、行田市単独事業の2歳児歯科検診の実施、小学校就学前検診時の歯科講話の実施	会長
		白岡中央 総合病院	○小児予防接種の充実	○小児予防接種（インフルエンザ、肺炎球菌、4種混合、麻疹風疹混合ワクチン、日本脳炎等）：年間合計1,098件実施	小児科
		羽生市母子 愛育会連合会	○乳幼児健診の測定補助 ○市民福祉健康まつりに参加し、赤ちゃんハイハイコンクールの開催 ○家庭訪問にて声かけ活動、赤ちゃん誕生訪問の実施	○乳幼児健診の測定補助 48回 144人 ○赤ちゃんハイハイコンクール参加者 42人 ○家庭訪問 486件	健康づくり 推進課
		久喜市母子 愛育連合会	○各地区保健センターの保健事業への協力 (乳幼児健診の補助、教室・がん検診の託児等) ○各地区まつり・フェスタ等への参加協力 ○子育て支援イベントの開催 ○地域の小学校に出向き、授業への協力 ○研修会の開催	○各地区保健センターの保健事業等への協力 乳幼児健診の補助、教室の託児 市の事業 7回 がん検診の託児 21回 ○各地区まつり・フェスタ等への参加協力 19回 ○子育て支援イベントの開催 29回 ○地域の小学校に出向き授業への協力 3回 ○研修会の開催 12回	中央保健 センター
		蓮田市母子 愛育会	○妊産婦乳幼児の家庭への声掛け訪問 ○乳幼児健康診査未受診者への訪問 ○各地域での母子で参加できるイベント（測定会、お茶会、七夕、ハロウィン、クリスマス会、豆まき、消防署見学、お芋堀、公園で遊ぶ会、幼稚園サロン等）の開催 ○子育てフェスタ等への参加 ○研修会の開催	○妊産婦乳幼児の家庭への声掛け訪問（年5回延1811回） ○乳幼児健診未受診者への訪問 ○各地域において母子で参加できるイベント（測定会、お茶会、七夕、ハロウィン、クリスマス会、豆まき、消防署見学、お芋堀等）の開催（年76回1696名参加） ○健康まつり・子育てフェスタ等への参加 ○研修会の開催（年2回） ○連絡員全員が母子保健推進員の委嘱を受けて活動	子ども支援課
		幸手母子 愛育会	○健康増進課の保健事業に託児協力 ○地域の小学校に出向き、「いのちの大切さ事業」を実施 ○健康まつりに参加	○健康増進課の保健事業に託児協力（年5回） ○地域の小学校に出向き、「いのちの大切さ事業」を実施（年8回対象児童398人） ○健康福祉まつりに参加（年1回、来場者1,000人）	健康増進課

医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	関係機関の連携 強化による子育て 支援	白岡市母子 愛育会	<ul style="list-style-type: none"> ○保健センターの保健事業に託児協力 ○健康まつりへの参加 ○乳児教室等の開催 ○食生活改善推進員協議会との協働による料理教室の開催 ○家庭訪問による声かけ運動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○保健センターの保健事業に託児協力（母親学級4回、離乳食教室11回） ○健康まつりへの参加（班員46名で実施、手形参加196枚） ○乳児教室等の開催（幼児教室4回、地区幼児教室14回、三歳児料理教室1回、救急法1回・参加者10名） ○食生活改善推進員協議会との協働による料理教室の開催（班員8名で実施、親子参加4組） ○家庭訪問による声かけ運動の実施（訪問件数1468件、声かけ18件） 	健康増進課
		杉戸町 母子愛育会	<ul style="list-style-type: none"> ○乳幼児への訪問及び乳幼児健診未受診者への訪問実施 ○年2回 母と子のつどいを開催 ○メッセージ入りマタニティキーホルダー・母子手帳カバー配布 ○保健センター事業への協力 <ul style="list-style-type: none"> ・離乳食教室で保育協力 ・ママパパ教室で技術協力 ・骨粗鬆症・乳がん子宮がん健診会場において保育協力 	<ul style="list-style-type: none"> ○乳幼児への訪問（397件） ○年2回 母と子のつどいを開催 ○メッセージ入りマタニティキーホルダー（239件）・母子手帳カバー配布（240件） ○保健センター事業への協力 <ul style="list-style-type: none"> ・離乳食教室で保育協力（年4回） ・ママパパ教室で技術協力（年3回） ・骨粗鬆症・乳がん子宮がん健診会場において保育協力（年4回） 	健康支援課
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	休日・夜間における 適正な小児科 受診の啓発	北埼玉医師会	○会員の小児科医による母親向けの出前講演、「子供の急病時の対応」を年4回開催する。（加須市からの事業委託）	○概ね計画どおり実施	会 長
		行田総合病院	小児救急医療支援事業への継続的支援として、祝日の月曜日・金曜日の日中、月曜日・金曜日の夜間、第2・第4土曜日の夜間にて小児外来診療及び小児救急診療を継続して実施する。	○計画通り、祝日の月曜日・金曜日の日中、月曜日・金曜日の夜間、第2・第4土曜日の夜間にて小児外来診療および小児救急診療の体制を維持し、実施した。	
		羽生総合病院	○時間外となる、土曜日の午後、日曜日、祝日の8時から17時まで小児科医を配置し、救急医療を継続していく。	○時間外となる、土曜日の午後、日曜日、祝日の8時から17時まで小児科医を配置し、救急医療を継続していく事が出来た。	小児科
		白岡中央 総合病院	○自院で対応出来ない分、休日・夜間に必要となる受診に関し、マニュアル等を活用し、適切な情報提供の実施	○マニュアル等を活用し、適切な情報提供を行う。	小児科